



# USER'S MANUAL

Windows7

ドライバーインストール手順書



## 目次

目次.....	1
はじめに.....	2
各種ボードのドライバーインストール手順.....	3
シリアル通信ドライバー(仮想COMドライバー)のインストール手順.....	9
COMポートの割り当て手順.....	17
お問い合わせ.....	22

## はじめに

本ドキュメントは Windows7 使用時における各ドライバーのインストール手順及び COM ポートの割り当て手順を記載したドキュメントです。

具体的な手順については、「各種ボードのドライバーインストール手順」、「シリアル通信ドライバー(仮想COMドライバー)のインストール手順」、「COMポートの割り当て手順」をそれぞれ参照してください。

※本ドキュメントの該当機種は以下の機種になります。

こちらに掲載されていない機種につきましては、弊社までお問い合わせ下さい。

- APX-510 (PC メモリ 2GB 以上必要)
- APX-741
- APX-742
- APX-721LP
- APC-480LP (※)
- APM-420B (※)
- APX-3318
- APX-3313
- APX-3312 シリーズ(APX-3312/2 の場合は PC メモリ 2GB 以上必要)
- APC-3316 シリーズ (※)
- APC-3310 シリーズ (※)
- APX-334 (※)
- APC-335 (※)
- APC-3322A (※)

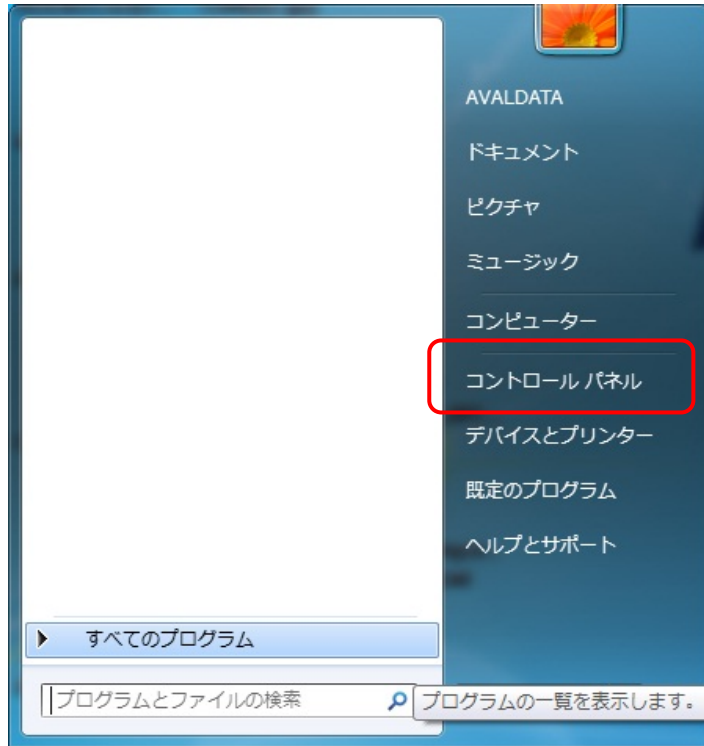
※32bit 版のみマニュアルインストール可

本説明書に記載されておりますメーカー名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

## 各種ボードのドライバーインストール手順

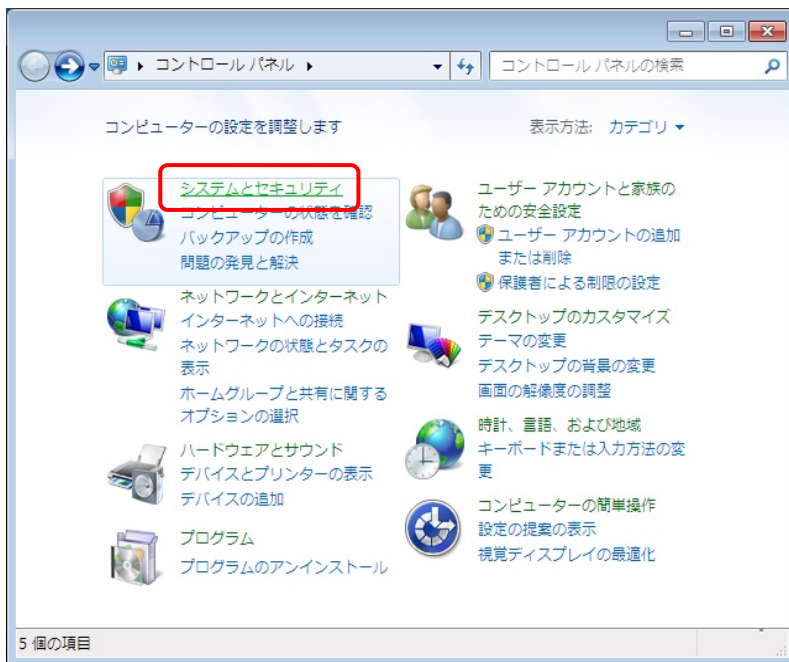
本章では Windows7 使用時における各種ボードのドライバーインストール手順について説明します。

※Windows7 では、プラグアンドプレイが発生しないため、以下の手順に従いドライバーを手動でインストールして下さい。



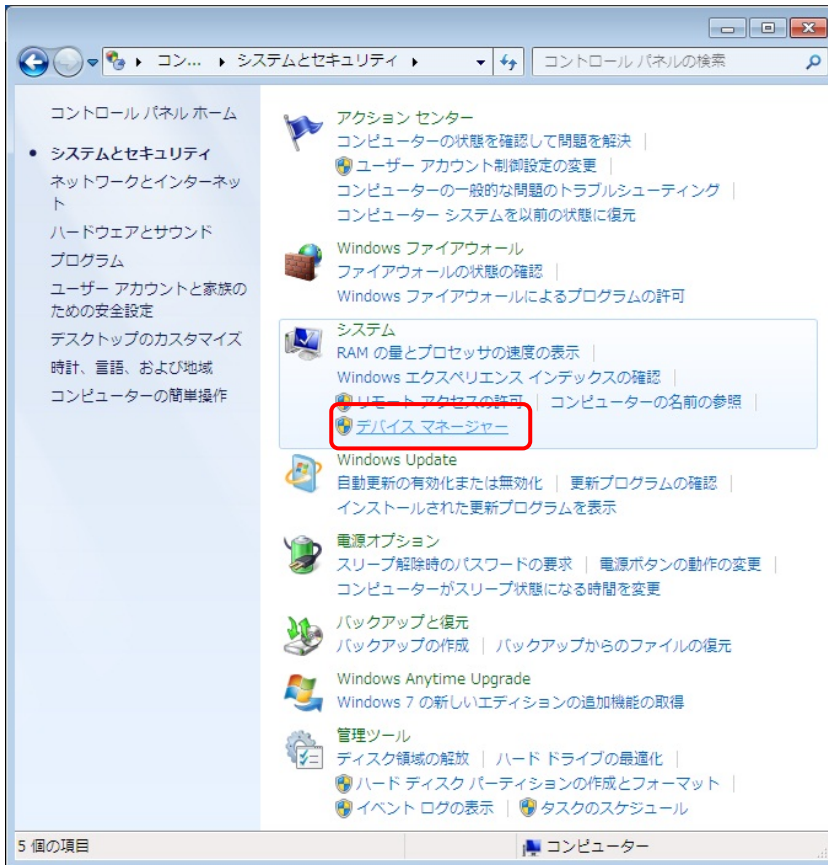
### [手順1]

スタートメニューより「コントロールパネル」を選択します。

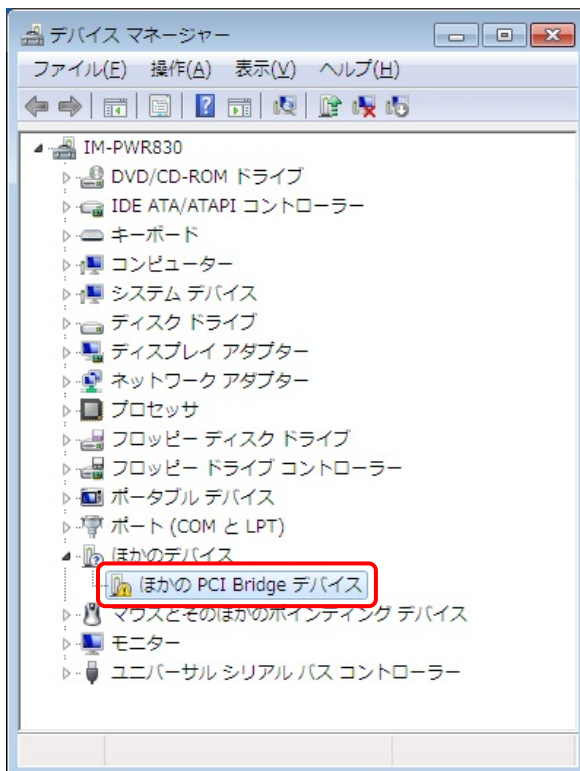


### [手順2]

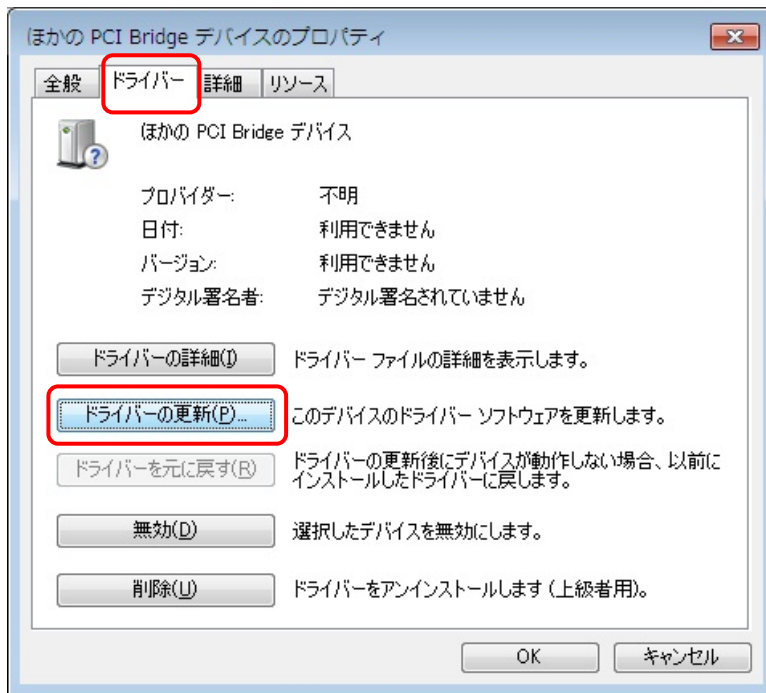
「システムとセキュリティ」を選択します。



[手順3]  
「システム」の「デバイス マネージャー」を選択します。

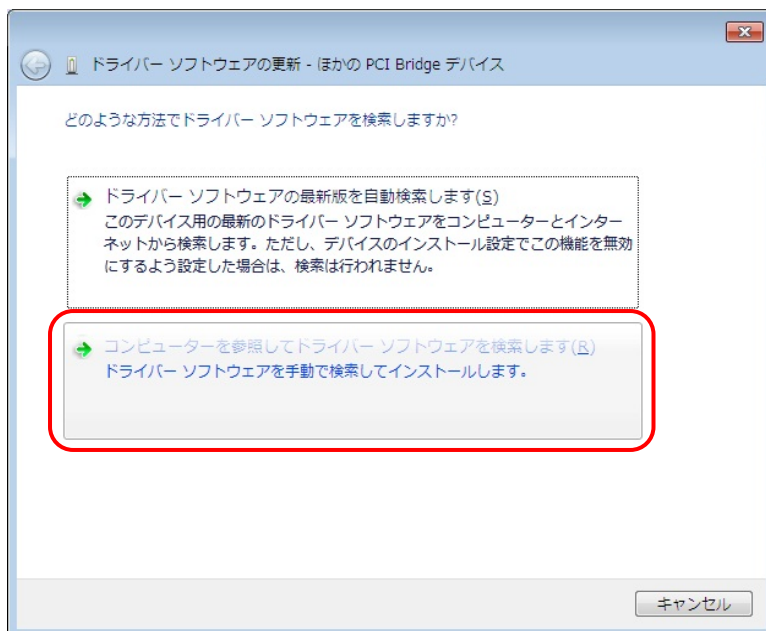


[手順4]  
「ほかのデバイス」より「ほかの PCI Bridge デバイス」を右クリックして「プロパティ」を選択します。



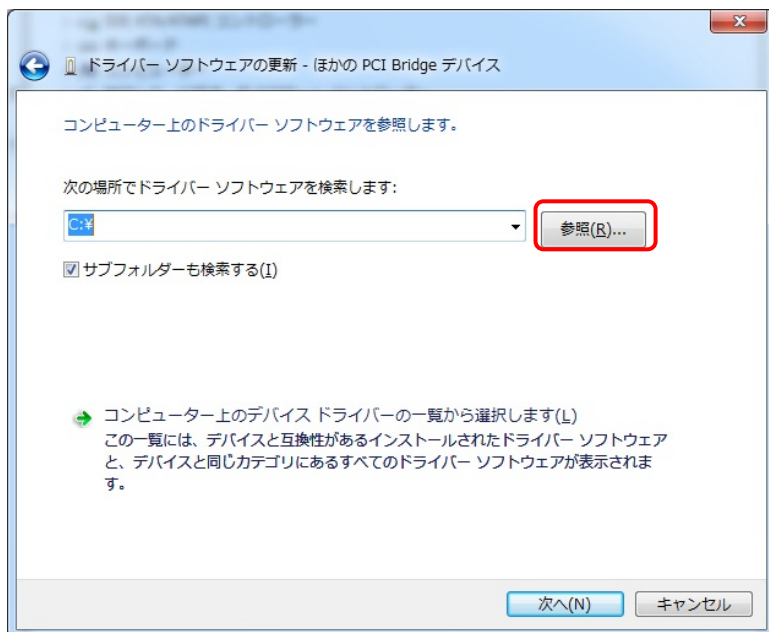
#### [手順5]

「ドライバー」タブより「ドライバーの更新」を選択します。

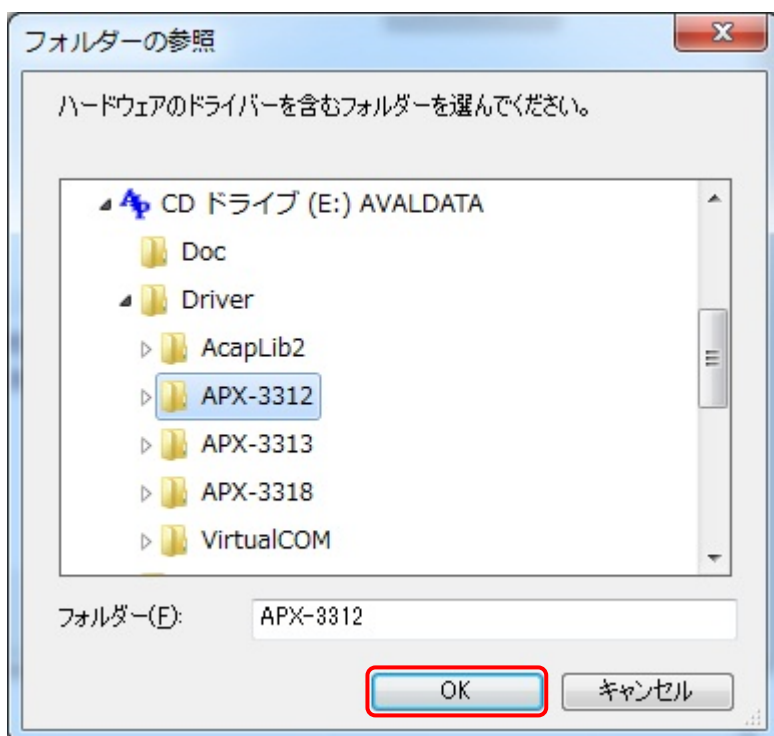


#### [手順6]

「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択します。

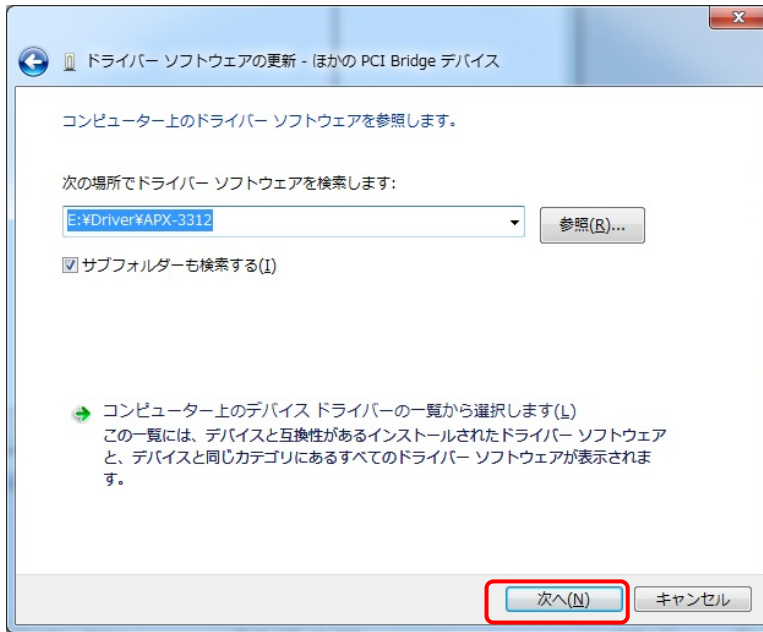


[手順7]  
「参照」を選択します。



[手順8]  
ドライバー情報ファイル(\*.inf)が  
格納されているフォルダーを指定し、  
OK を選択します。

※左図は APX-3312 を使用する場  
合です。



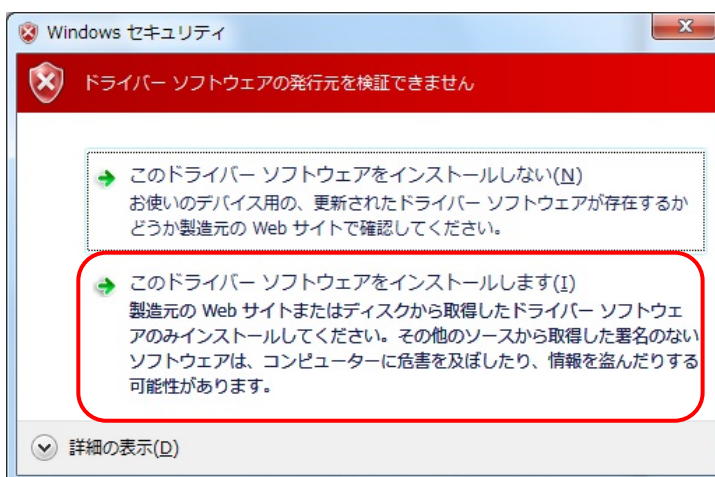
### [手順9]

フォルダーを選択しますと[手順 7]の画面に戻りますので「次へ」を選択し、インストールを開始します。



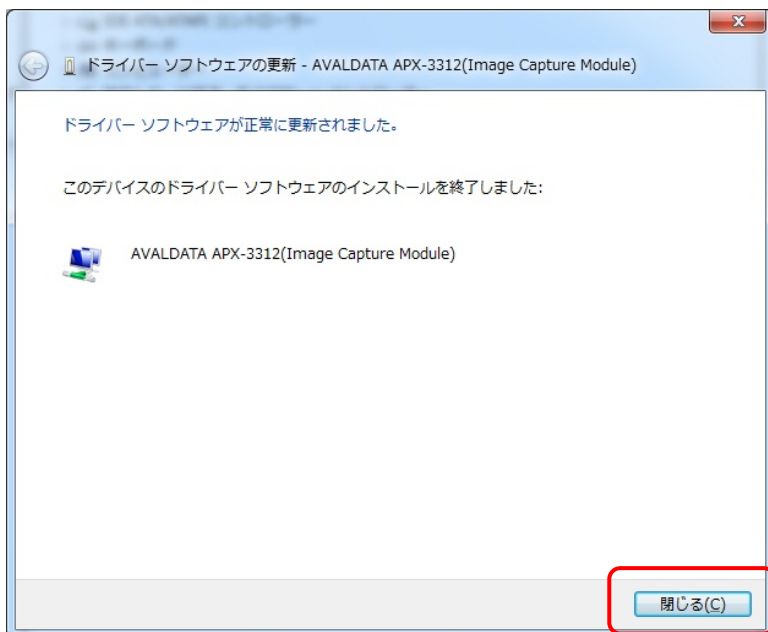
### [手順10]

インストール中に左図の画面が表示されますので「インストール」を選択します。



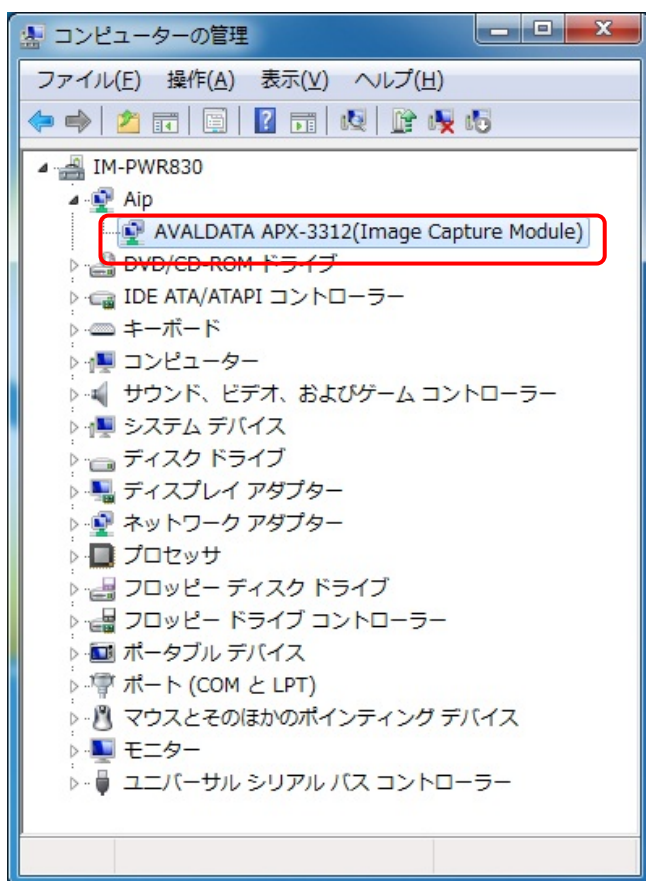
※ご使用の機種によっては「このデバイスソフトウェアをインストールしますか?」と表示されずに、左図が表示される場合があります。その場合は、「このドライバーソフトウェアをインストールします」を選択して下さい。





### [手順11]

インストールが終了しますと左図の画面が表示されますので「閉じる」を選択して画面を閉じ、PC を再起動して下さい。



### [手順12]

[手順 1]から[手順 3]を参考にデバイス マネージャーを開き、各種ボードが登録されている事を確認します。

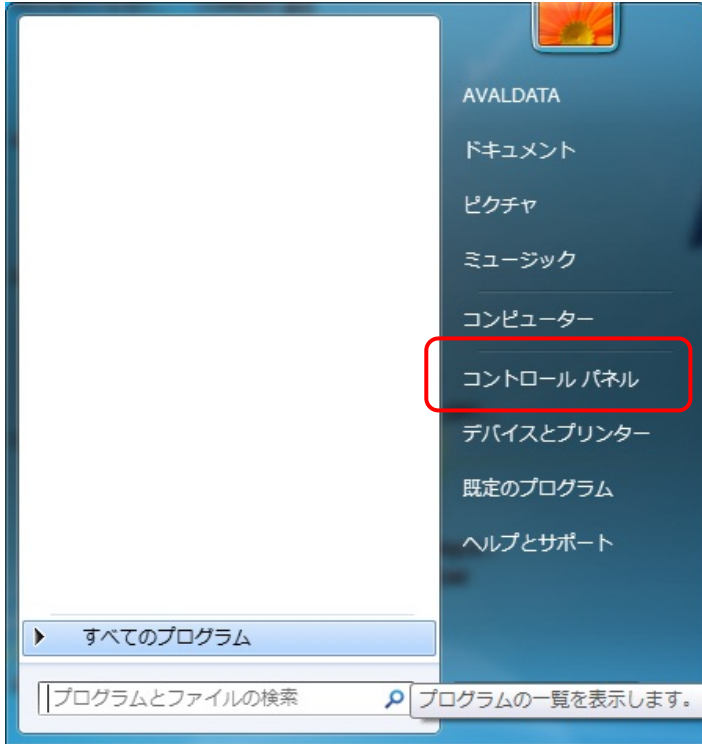
※APX-3312 の場合は、左図のように [Aip]より [AVALDATA APX-3312(Image Capture Module)]と表示されます。

また、図のように「！」や「×」が付いていない状態であることを確認してください。

以上で各種ボードのドライバーインストールは終了です。

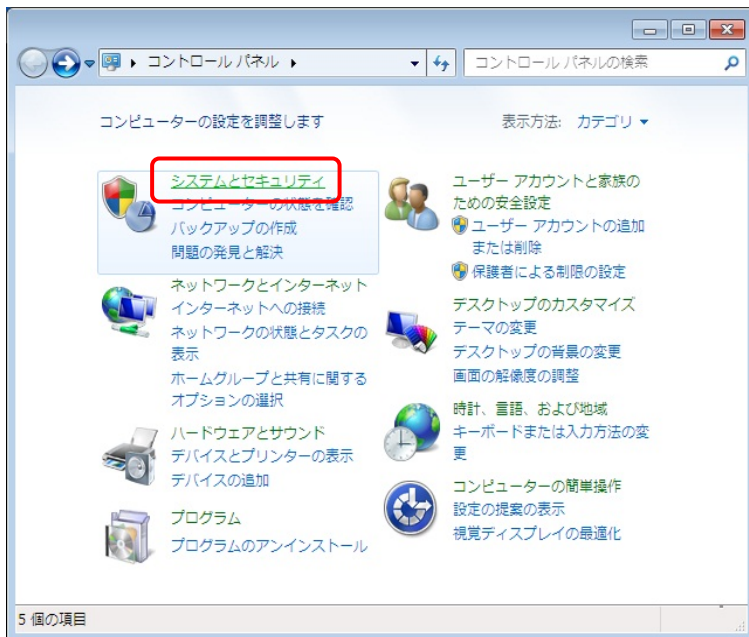
## シリアル通信ドライバー(仮想COMドライバー)のインストール手順

本章では Windows7 使用時におけるシリアル通信ドライバー(仮想 COM ドライバー)のインストール手順について説明します。



### [手順1]

スタートメニューより「コントロールパネル」を選択します。

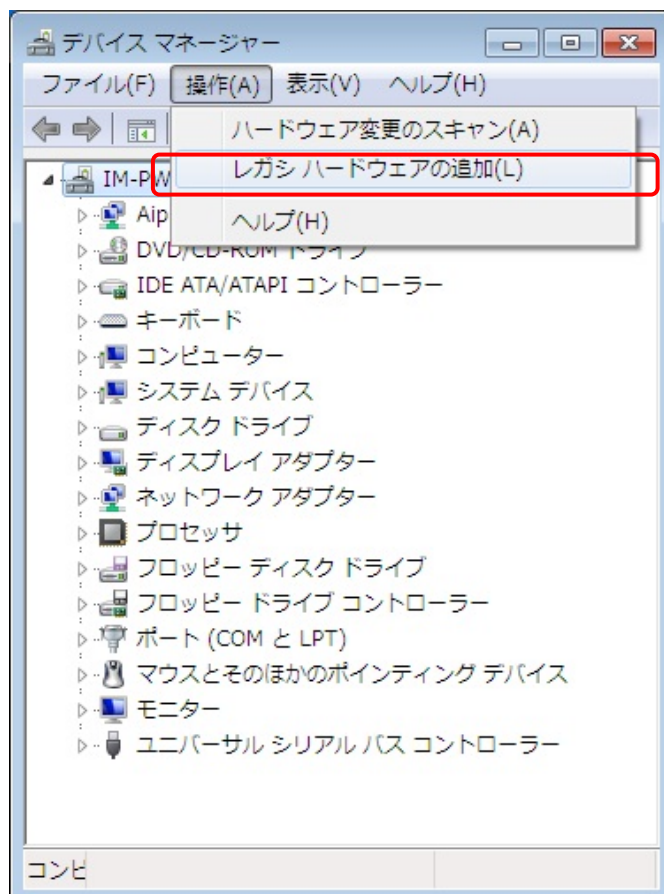


### [手順2]

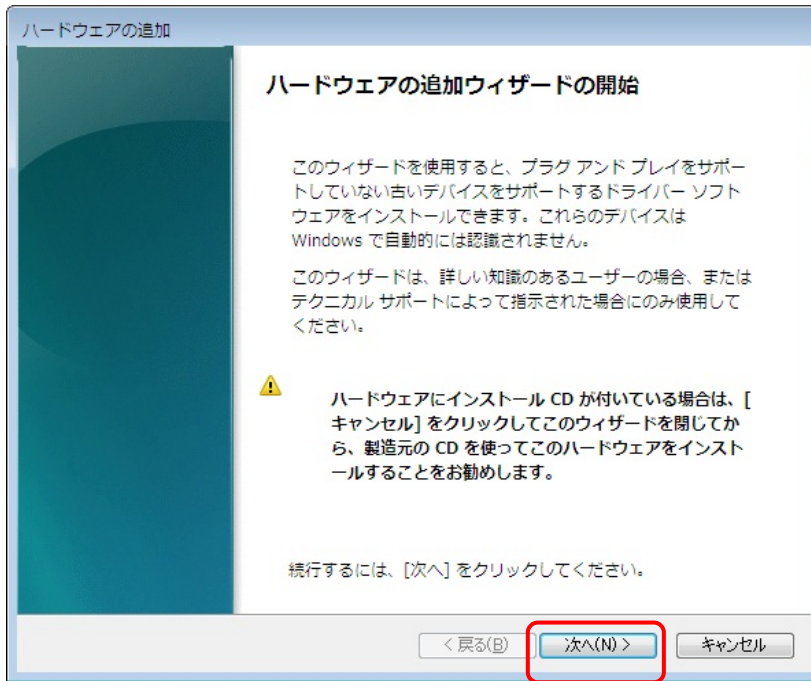
「システムとセキュリティ」を選択します。



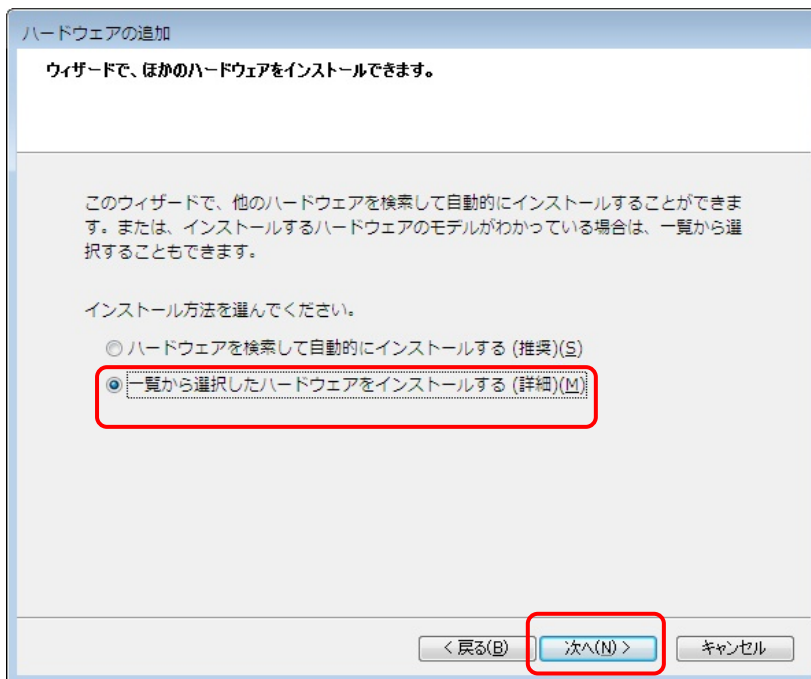
[手順3]  
「システム」の「デバイス マネージャー」を選択します。



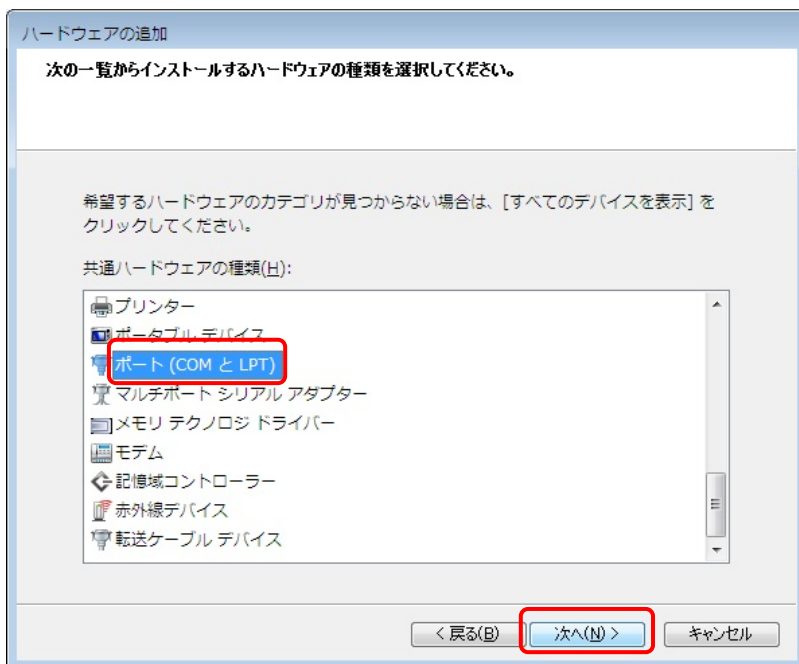
[手順4]  
メニューの「操作」より「レガシハードウェアの追加」を選択します。



[手順5]  
「次へ」を選択します。

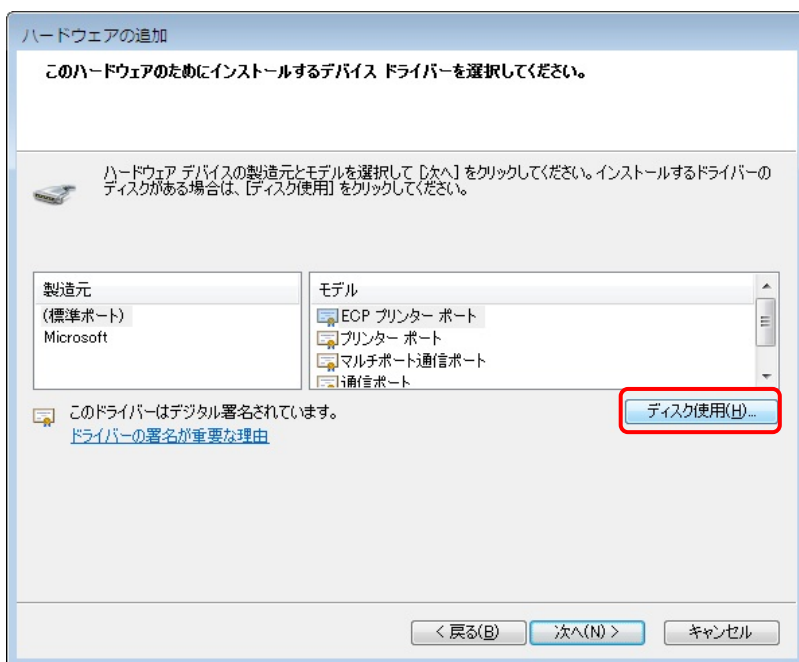


[手順6]  
「一覧から選択したハードウェアをインストールする」を選択し「次へ」を選択します。



[手順7]

「ポート(COMとLPT)」を選択し「次へ」を選択します。

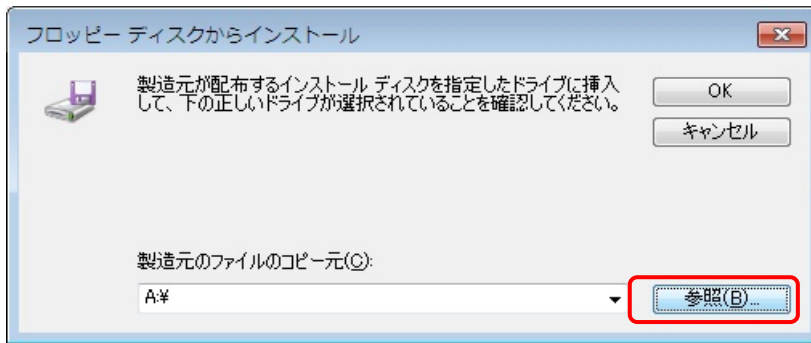


[手順8]

「ディスクの使用」を選択します。

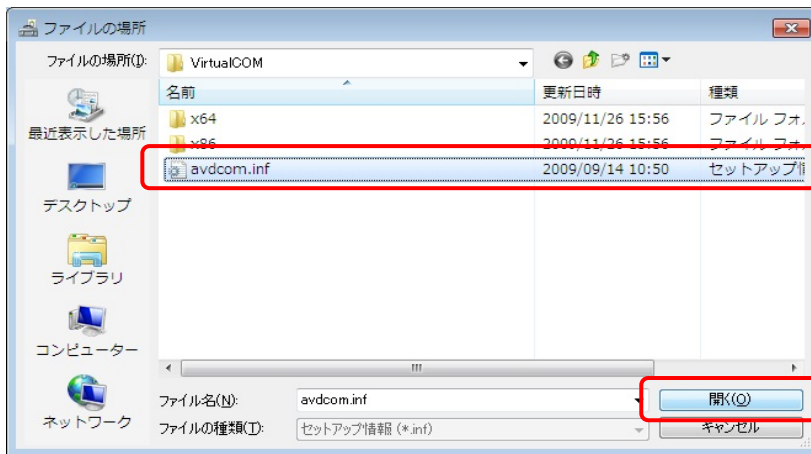
[手順9]

「参照」を選択します。



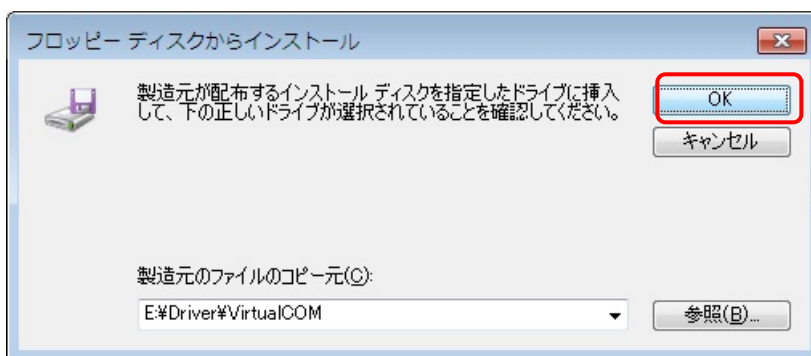
[手順10]

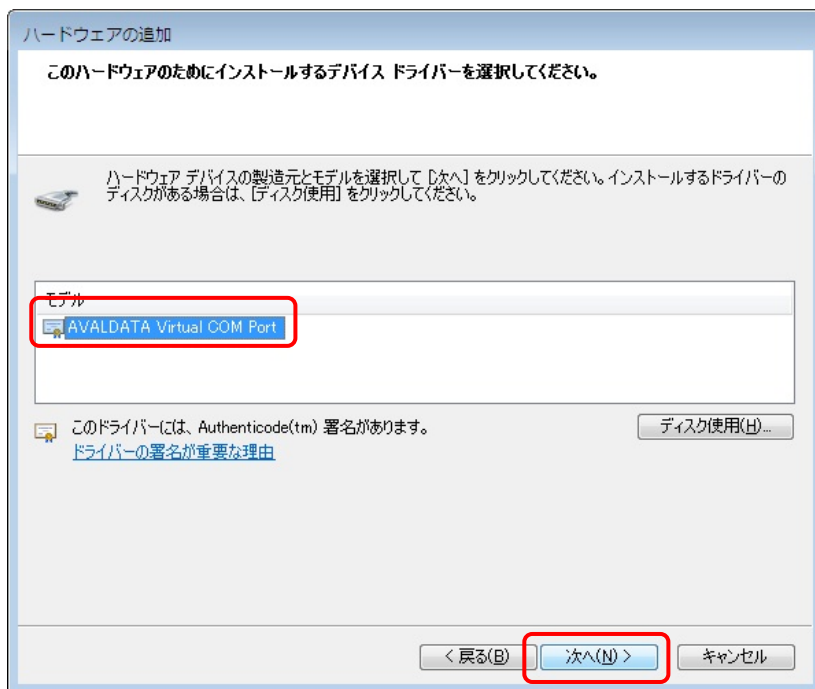
「SDK-AcapLib2」の CD を挿入して、[driver]-[VirtualCOM]より「avdcom.inf」を選択します。次に[開く]を選択します。



[手順11]

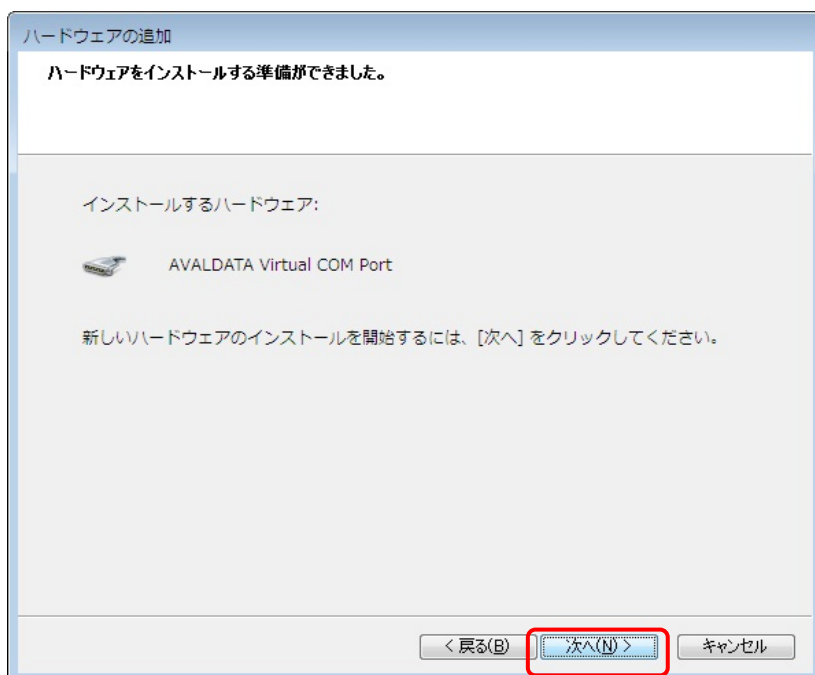
[手順 9]の画面に戻りますので「OK」を選択します。





[手順12]

「AVALDATA Virtual COM Port」を選択し、「次へ」を選択します。

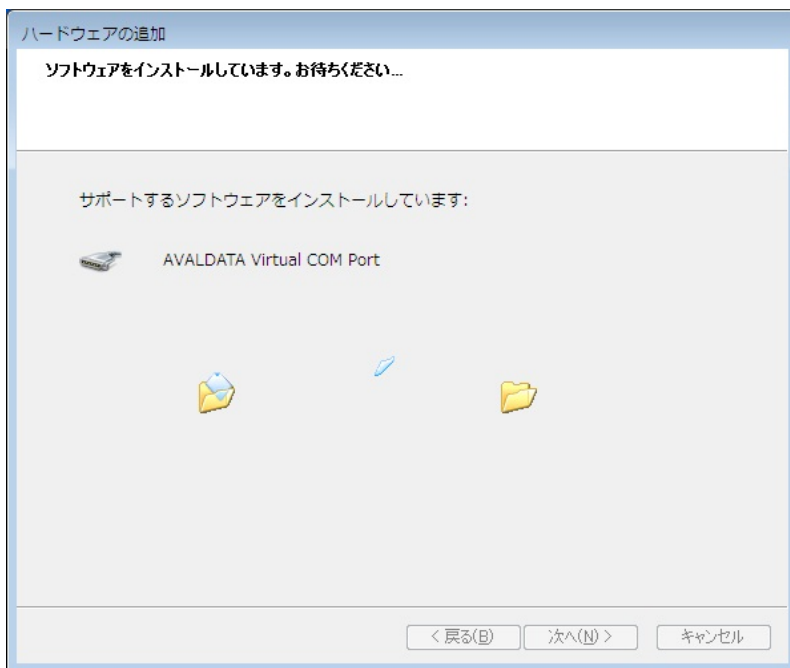


[手順13]

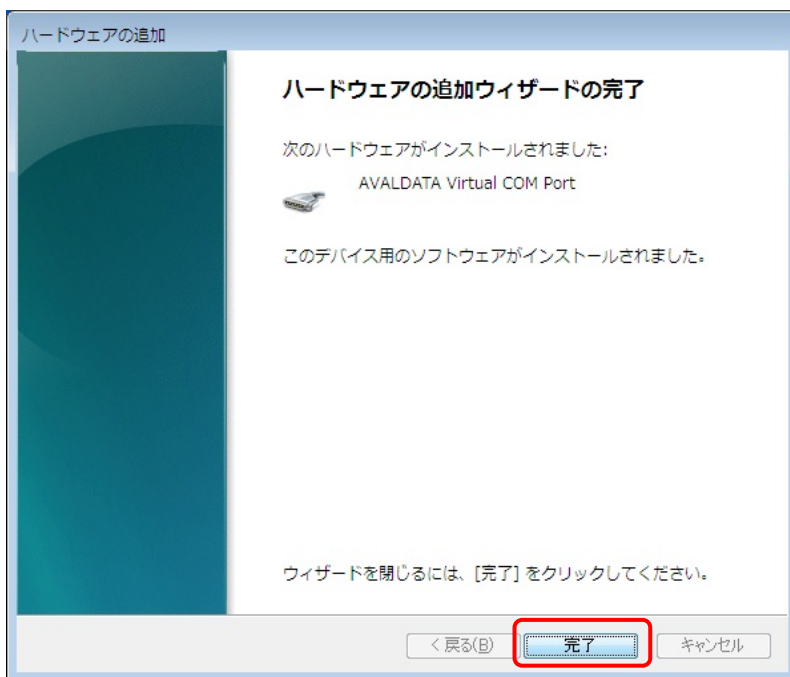
「次へ」を選択します。



[手順14]  
「インストール」を選択します。

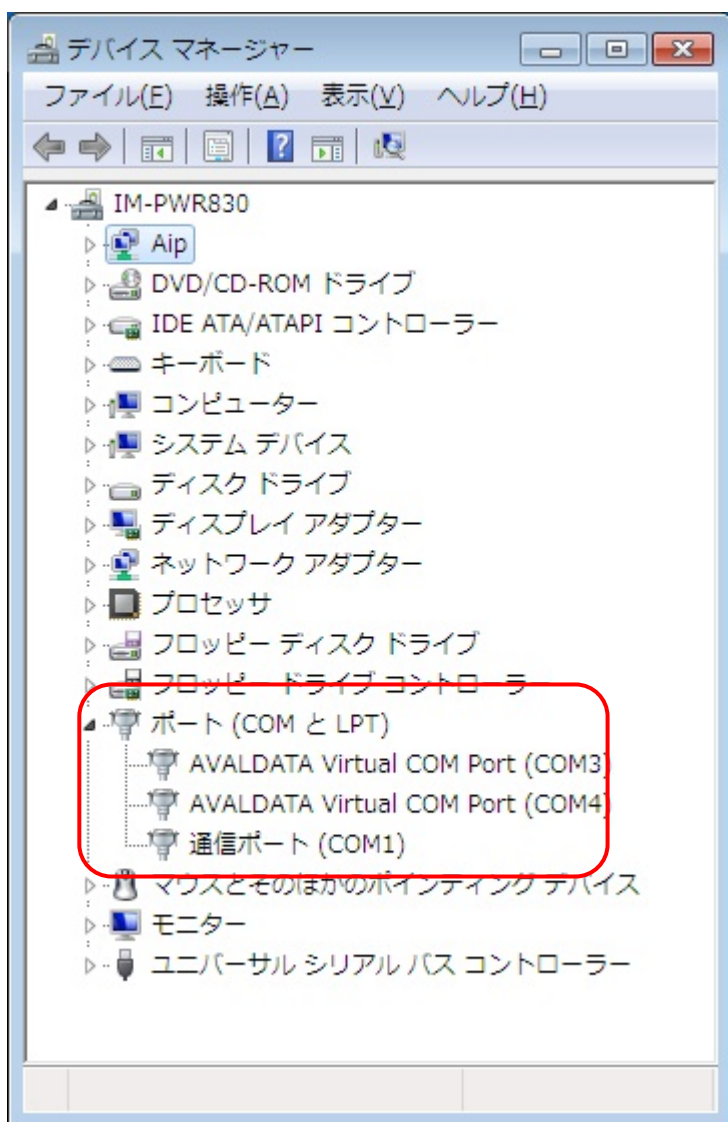


[手順15]  
インストールが開始されますので、しばらくお待ちください。



[手順16]  
「完了」を選択します。





### [手順17]

[手順 1]から[手順 3]を参考にデバイス マネージャーを開きます。

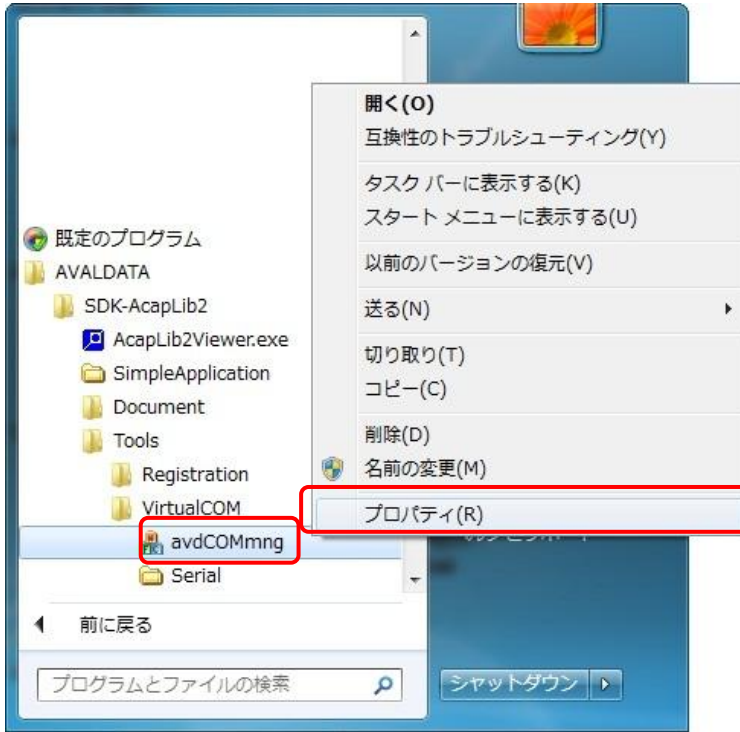
図はドライバー登録処理を 2 回行った結果です。1 回目で「COM3」、2 回目で「COM4」が登録された事になります。

「ポート(COMとLPT)」に「AVALDATA V irtual COM Port (COM\*)」と登録がある事を確認します。(「\*」の番号は自動的に割り振られます。)

また、図のように「！」や「×」が付いていない状態であることを確認してください。

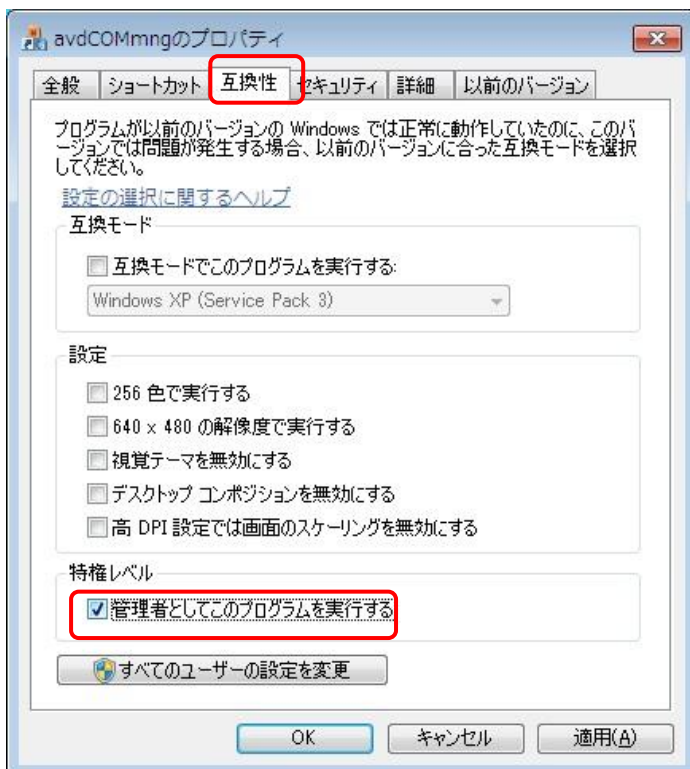
以上でシリアル通信ドライバー(仮想 COM ドライバー)のインストールは終了です。

本章では Windows7 使用時における COM ポートの割り当て手順を説明します。



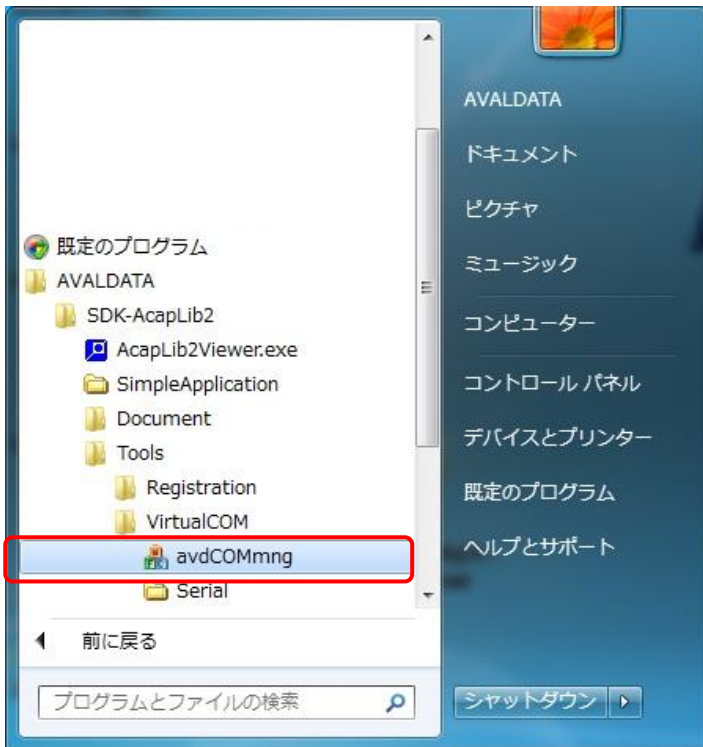
#### [手順1]

スタートメニューより、「すべてのプログラム」-「AVALDATA」-「avdCOMmng」を右クリックしてプロパティを選択します。



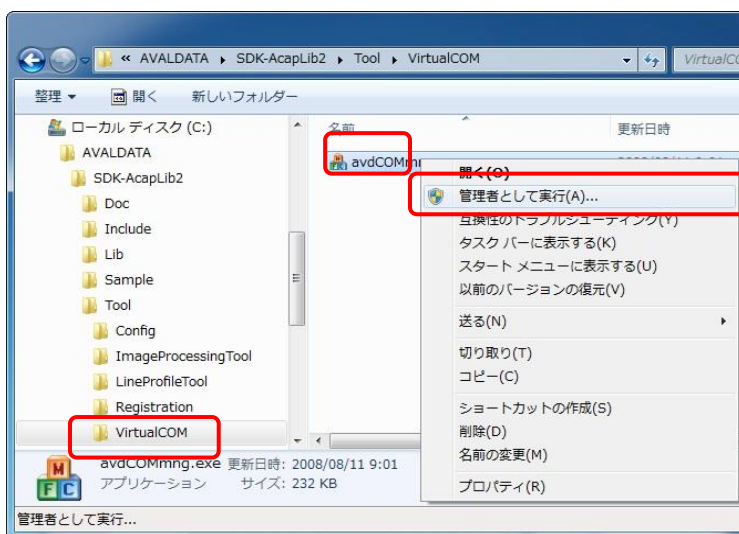
#### [手順2]

「互換性」タブを選択します。  
次に、「特権レベル」の「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを付け「OK」を選択します。

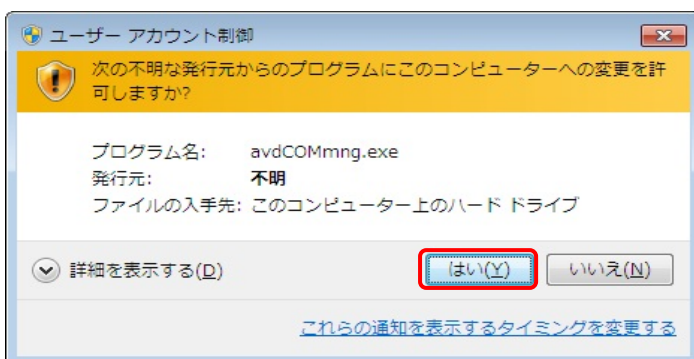


[手順3]

スタートメニューより、「avdCOMmng」を選択して起動します。

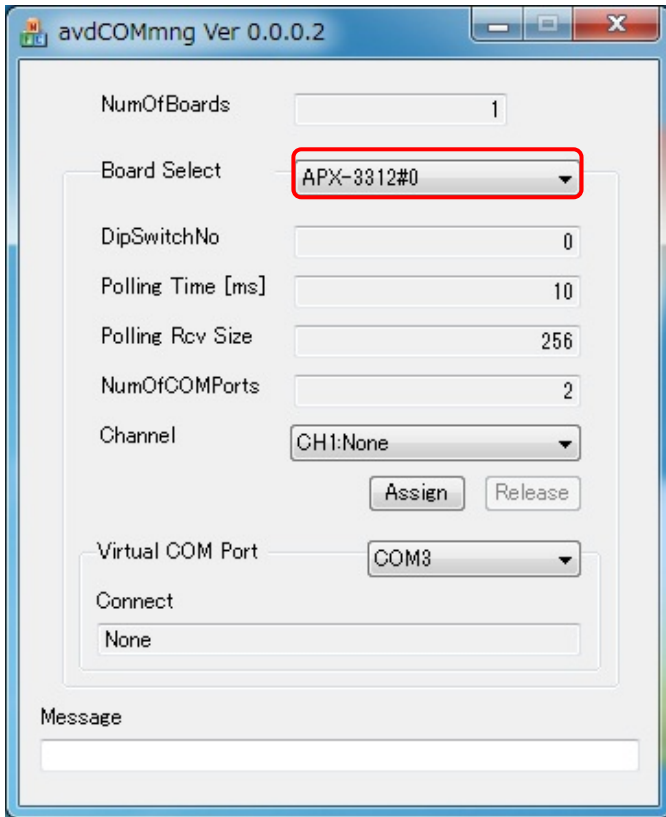


※インストール先のディレクトリから直接「avdCOMmng」を起動する場合は、[AVALDATA]-[SDK-AcapLib2]-[Tools]-[VirtualCOM]-[avdCOMmng]を右クリックし「管理者として実行」を選択します。



[手順4]

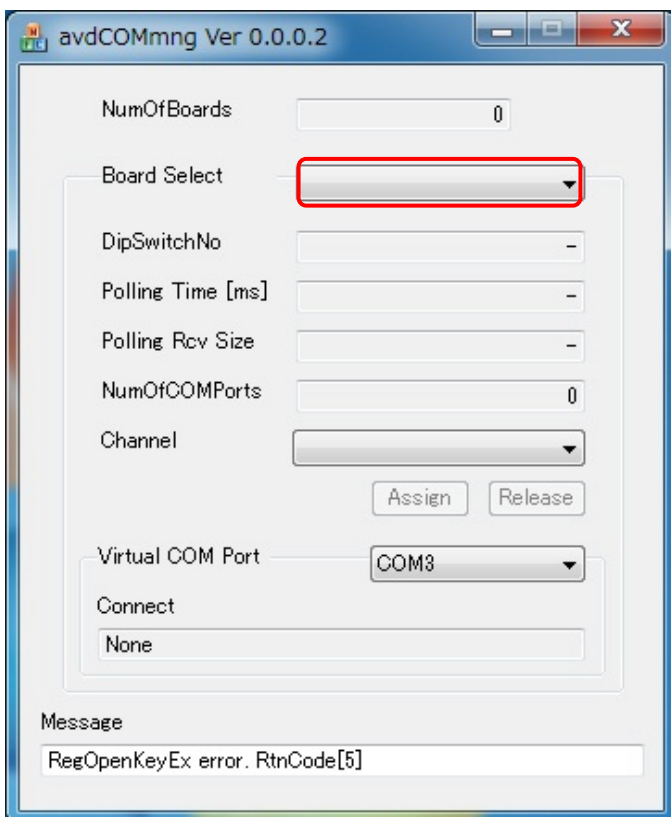
[avdCOMmng]を実行しますと、デスクトップが反転し「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので「はい」を選択して下さい。



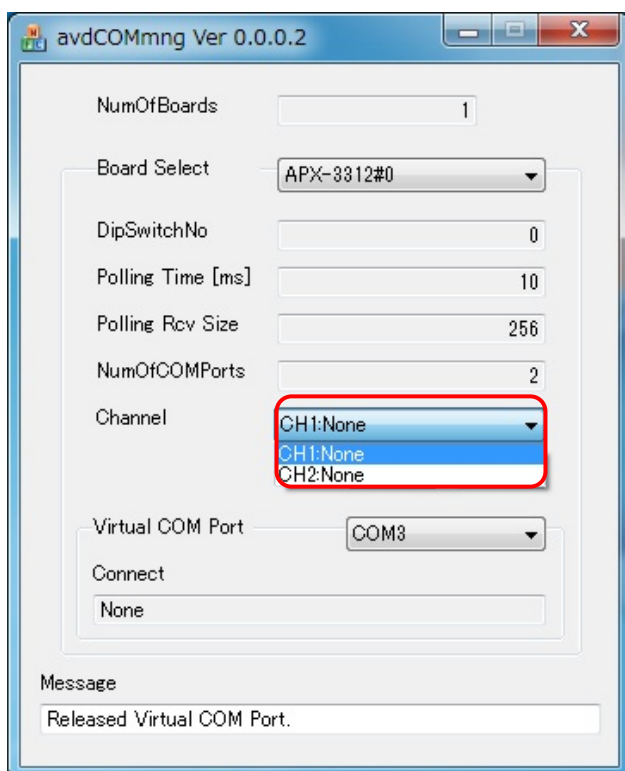
※これより APX-3312 が実装されていると仮定します。

#### [手順5]

「avdCOMmng」を起動した状態です  
[Board Select]に「APX-3312#\*」と表示されている事を確認します。  
(\*は APX-3312 のボード ID)



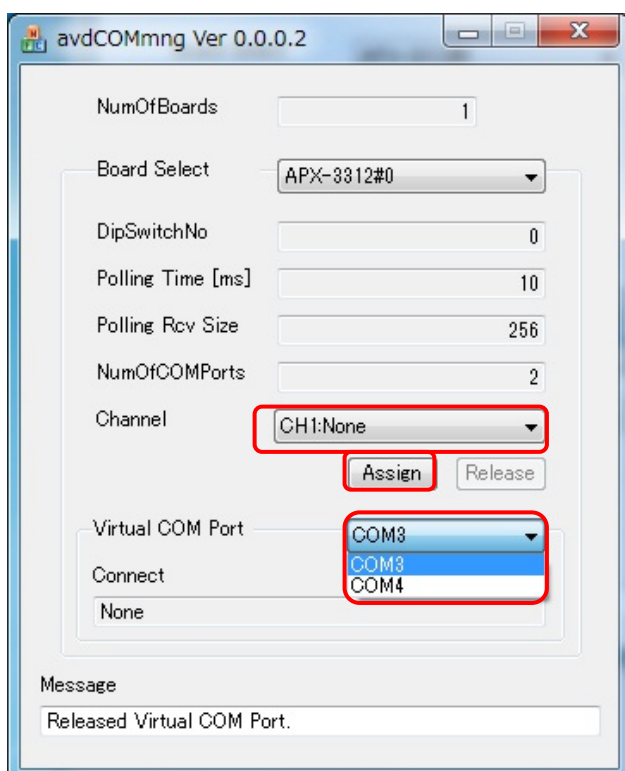
※図のように[Board Select]、に何も表示されていない場合は、弊社ボードのドライバー登録が行われていない又は管理者権限で「avdCOMmng」を実行していない可能性があります。



#### [手順6]

APX-3312 はカメラリンクポートを 2CH 搭載していますので、(APX-3313/APX-3318 の場合は Base 側の 1CH のみ) それぞれに COM ポートの割り当てが可能です。

図では「None」となっていますので、どちらの CH にも COM ポートの割り当てが行われていない状態となっています。



#### [手順7]

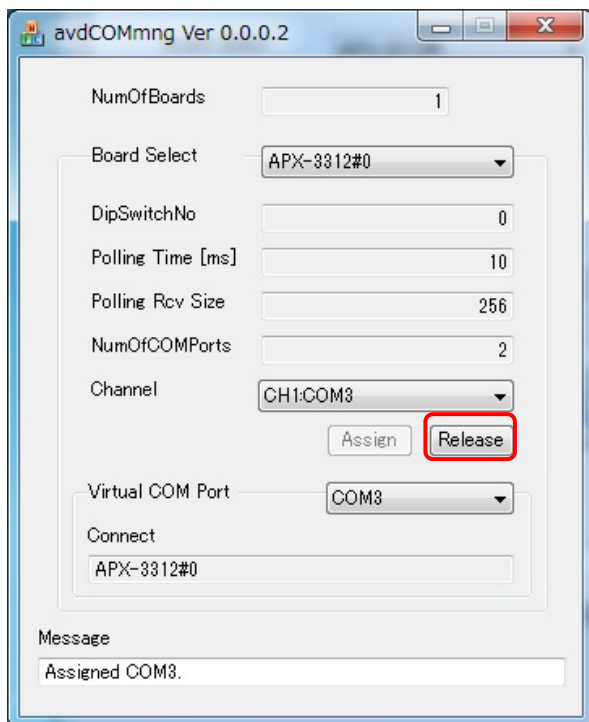
[Channel]で APX-3312 に割り当てる CH を選択します。

[Virtual COM Port]で割り当てる COM ポートを選択します。

その後、[Assign]を選択すると、COM ポートが割り当てられます。

図では、仮想 COM として「COM3」、 「COM4」が登録されています。

仮想 COM ドライバー登録を行った回数分、[Virtual COM Port]には、割り当てることのできる仮想 COM ポートが表示されます。



### [手順8]

図は、APX-3312 の「CH1」に「COM3」を割り当てた状態です。

[Channel]が「CH1:None」→「CH1:COM3」となっています。

同じ CH に複数の COM ポートを割り当てる事はできません。

この状態で[Release]を選択すると、割り当てを解除する事ができます。

以上で COM ポートの割り当て手順は終了です。

## お問い合わせ

お問い合わせは下記までお願いいたします。

<b>本社 町田事業所 営業部</b>  〒194-0023 東京都町田市旭町 1 丁目 25 番 10 号		042-732-1030
		042-732-1032
<b>大阪オフィス</b>  〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 7 丁目 1 番 29 号 SONE ビル 5F		06-6886-8989
		06-6886-8981
<b>技術的なお問い合わせ</b> ハードウェアやソフトウェア等、製品に関する技術的なご質問		<a href="mailto:support@avaldata.co.jp">support@avaldata.co.jp</a>
<b>価格・仕様などのお問い合わせ</b> 製品の価格や基本的な仕様、在庫等、製品に関する一般的なご質問		<a href="mailto:sales@avaldata.co.jp">sales@avaldata.co.jp</a>
<b>製品のご案内</b>		<a href="http://www.avaldata.co.jp">http://www.avaldata.co.jp</a>
お問い合わせ受付時間：月曜日～金曜日(祝祭日を除く) / 9:00～17:00		

### Windows7 ドライバーインストール手順書

2010年2月3日 初版

2010年5月7日 C版

編集 株式会社アバールデータ

発行 株式会社アバールデータ

J20M09072C

© 2010 AVALDATA CORPORATION